※令和４年度以降入学生用

学校番号	T2101

令和５年度　国語科

教科	国語	科目	言語文化	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	「新編　言語文化」　（大修館書店）						
副教材等	なし						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

言語文化の授業では、現代文（随想・小説）と古文・漢文を学習します。
現代文編では、登場人物の気持ちや物語の展開を文脈から判断できる力をつけていきます。そのために必要な語彙力も同時に身に付けます。
古文編では、平安時代や鎌倉時代の暮らしぶり、考え方を学びます。文法の学習よりも古典の世界に触れることに重点を置いています。過去に生きた人たちが何を考え、どのように生活していたのかを知り、現代に生きる私たちとの共通点と相違点を見出しましょう。
漢文編では、漢文を読むために訓読のきまりから学びます。日本の文化に大きな影響を与えた中国の文化や思想に親しみましょう。

２　学習の到達目標

・随筆・小説を読み、深く共感したり想像したりできるようになる。
・簡単な古文を読み、文語表現に親しむ。
・漢文の訓読法を学び、書き下し文にできるようになる。
・日常でよく使う故事成語の意味と、もととなった逸話を理解する。
・古文や漢文を音読できるようになる。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けているとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めている。	「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、読書に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもとうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

範囲	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
中間考査まで	日本人の感性を理解する ［教材］ 季節の言葉と出会う	a：日本人の感性が表れた季語と、その文化的背景について理解を深め、語感を磨き語彙を豊かにしている。 b[読]：季語に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、日本人の感性を解釈している。 c：日本の伝統的な自然観や美意識について筆者の主張をとらえることに興味をもち、季語や日本独特の自然の味わい方に対して関心をもっている。	定期考査	授業プリント	振り返りシート 授業での観察
	たとえを理解して 登場人物の気持ちを類推する ［教材］ 水かまきり	a：水かまきりがケン坊のたとえとして出され、それと対応しているということを理解している。 b[読]：文章の表現の仕方から登場人物の心情を推測し、文章の続きの展開を予想している。 c：登場人物の置かれた状況を踏まえて、水かまきりが持つ意味と登場人物の心理を読み取ろうとしている。	定期考査	授業プリント	授業プリント 振り返りシート 授業での観察
	作品を比較して読みを深める ［教材］ 羅生門	a：常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書ける。 b[読]：羅生門が成立した背景や今昔物語集との関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。 c：作品に興味をもち、小説の構成や登場人物の心情の変化をとらえようとしている。元になった古典作品との比較に興味をもっている。	定期考査 小テスト	授業プリント	振り返りシート 授業での観察
期末考査まで	古文に親しむ ［教材］ 十二の「子」文字	a：漢字には音読みと訓読みがあることを理解している。 b[読]：古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 c：困難に対する機転を味わい、自分に置き換えて主体的に考えている。漢字の読みの多様性について関心を深めている。	定期考査	授業プリント	振り返りシート 授業での観察
	鎌倉時代と無常観を知る ［教材］ 徒然草　神無月のころ	a：隠者文学の成立背景と無常観を理解している。 b[読]：兼好法師のものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。 c：作品が成立した鎌倉時代に興味をもち、作者の物の見方や感じ方を読み取ろうとしている。	定期考査 小テスト	授業プリント	振り返りシート 授業での観察
	折り句を用いて表現する ［教材］ 伊勢物語　あづま下り	a：伊勢物語の歴史的・文化的背景を理解している。 b[書]：自分の知識や体験の中から適切な題材を決め、集めた材料のよさや味わいを吟味して、折り句に表現している。 c：和歌に込められた思いを理解し、折り句を自分の言葉で表現しようとしている。	定期考査 小テスト	授業プリント	授業プリント 振り返りシート 授業での観察

※令和４年度以降入学生用

期末考査まで	訓読のきまりを理解する ［教材］ 訓読のきまり	a：熟語の構造に着目し、漢文と日本語の語順の違いを理解している。 b[読]：漢文特融の構造を踏まえ、事象の捉え方を深めて、それに対して自分の意見を持てる。 c：漢文に興味をもち、訓読に意欲的に取り組んでいる。	定期考査	授業プリント	振り返りシート 授業での観察
	故事成語と成り立ちを学ぶ ［教材］ 守株	a：漢文を読むために、必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解している。 b[読]：登場人物のものの考え方を捉え、故事成語が成立した背景を理解し、故事成語の意味を理解している。 c：漢文に興味をもち、漢文を読む学習に意欲的に取り組んでいる。	定期考査	授業プリント	振り返りシート 授業での観察

４　学習の活動

※表中の観点について　a：知識・技能　b：思考・判断・表現　c：主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準[ｂ]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　　）時間

・書くこと　…　（　5　）時間

・読むこと　…　（　60　）時間